

令和4年12月26日
長野市老人福祉専門分科会

おでかけパスポート事業 の見直しについて



保健福祉部 高齢者活躍支援課

第1回専門分科会での主な意見

- ① 現行制度が定着し、かつ好評なため、この方式を維持すべきとの意見が多数
- ② コロナ禍の影響により厳しい経営が強いられるバス事業者の負担割合を軽減することはやむを得ない
- ③ 持続可能な制度とする上で、利用者負担を上げることはやむを得ない(特に長距離)
- ④ 割引額の見直しに合せ、ポイントの活用などバス利用の促進につながる取組や仕組みをぜひ検討してもらいたい

現行の制度

- ① 通常運賃に対して、バス事業者20%、利用者約37%、長野市約43%
- ② 利用者負担額(通常運賃の3割、最低110円、当分の間最高200円)

現在の料金体系

通常運賃	150～ 380円	390～ 410円	420～ 440円	450～ 480円	490～ 510円	520～ 540円	550～ 580円	590～ 610円	620～ 640円	650円 以上
割引後 運賃	110円 (下限値)	120円	130円	140円	150円	160円	170円	180円	190円	200円 (上限値)

※平成27年9月30日までは、利用者負担額一律100円(1回)

これまでの利用実績と推計(R 7年度)

3

年 度	H28	H29	H30		R2	R3		R7(推計)
平均利用 回数／年	945, 610	940, 959	929, 452		583, 425	566, 904		<u>984, 476</u>
年間利用者 (人)	データ記録なし				18, 512	18, 734		<u>31, 237</u>
通常運賃 (千円)	320, 210	314, 630	310, 285		188, 876	184, 772		<u>328, 654</u>
内 訳 (千円)	長野市 負担額	139, 189	135, 876	133, 897	100, 090	96, 826		<u>141, 321</u>
		負担割合 約 43%			約53%(コロナ緊急措置)			43%
	事業者 負担額	64, 042	62, 926	62, 057	17, 636	18, 642		<u>65, 731</u>
		負担割合 20%			10%(コロナ緊急措置)			20%
	利用者 負担額	116, 979	115, 828	114, 332	71, 150	69, 304		<u>121, 602</u>
		負担割合 約 37%						37%

※延べ利用回数は、市内バス事業者の一般路線のみを計上

※R 7年度(推計)は、RESASによる2020年と2025年の対象者数の変化(+5.92%)が、平成30年度実績からあるものとして推計

- 最も利用が多い範囲(区間)は、通常運賃 **150円～380円** で全体の**70.9%**を占める
(利用者負担110円) (※R4.2～8の実績 御開帳期間を除く)
- 令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者数が大幅に減少したため、緊急措置としてバス事業者の負担割合を一時的に**1割**としている

基本的な考え方

持続可能な制度とするために

利用者、バス事業者、市の負担を見直す

- ・ **利用者負担**は、利用負担額を見直す（特に長距離）
- ・ **バス事業者負担**は、負担軽減の観点から見直す
- ・ **市負担**は、利用者及びバス事業者負担との調整を図り見直す

料金体系の考え方

- ・ **料金体系**は、5段階とする
- ・ **利用者負担**は、下限額を120円、上限額を300円とする

※物価上昇などで、通常運賃が変わる場合は、利用者負担の見直しを検討する必要がある。

新たな割引料金（案）

通常運賃	150～340円	350～440円	450～540円	550～690円	700円以上
割引後運賃	120円 (最大+10円)	150円 (最大+40円)	180円 (最大+40円)	210円 (最大+40円)	300円 (最大+100円)
利用者構成	約65.5%	約15.1%	約9.8%	約4.8%	約4.9%

新たな料金（案）に対する負担の見込み

市：約48%（+5%） 利用者：約42%（+5%） 事業者：10%（▲10%）

※現在、おでかけパスポートのバス乗車ポイントは、主に市が負担としている。

方針を反映した将来推計

6

年 度	H28	H29	H30		R2	R3		R7(推計)
平均利用 回数／年	945,610	940,959	929,452		583,425	566,904		<u>984,476</u>
年間利用者 (人)	データ記録なし				18,512	18,734		<u>31,237</u>
通常運賃 (千円)	320,210	314,630	310,285		188,876	184,772		<u>328,654</u>
内 訳 (千円)	長野市 負担額	139,189	135,876	133,897	100,090	96,826		<u>157,754</u>
		負担割合 約 43%			+5%			約 48%
	事業者 負担額	64,042	62,926	62,057	17,636	18,642		<u>32,865</u>
		負担割合 20%			▲10%			10%
	利用者 負担額	116,979	115,828	114,332	71,150	69,304		<u>138,035</u>
		負担割合 約 37%			+5%			約 42%

※延べ利用回数は、市内バス事業者の一般路線のみを計上

※R7年度(推計)は、RESASによる2020年と2025年の対象者数の変化(+5.92%)が、平成30年度実績からあるものとして推計

【参考】	2020年 (90,373人)	2025年 (95,727人 + 5.92%)	2030年 (97,774人 + 8.19%)
	2035年 (99,586人 +10.19%)	2040年 (102,335人 +13.24%)	2045年 (107,165人 +18.58%)

【再掲】第1回老人福祉専門分科会での意見

割引額の見直しに合せ、ポイントの活用など
バス利用の促進につながる取組や仕組みを検討してもらいたい



外出を促進するためのバス乗車ポイントの活用（例）

■ 外出のきっかけをつくる

Welcome おでパ 新規導入キャンペーンとしてポイントを付与

■ お出かけ先をつくる

Nice Trip おでパ 老人クラブや住自協が企画する路線バス行事等でポイント付与

バス乗車ポイントの活用にあたっては、具体的な導入コストや体制の検討が必要
また、長野市公共交通活性化・再生協議会との調整が必要

※バス乗車ポイントは、バス利用のみに使用可能なポイントです。
失効期間を設ける必要があります。